



2月5日(木)から2月18日(水)までの2週間、インターン生の受け入れを行い、2名の大学生が剣淵町で活動しました。
 ※この取組は、地域おこし協力隊インターンシップ制度を活用しています。

■事業の目的

就業体験である「インターンシップ」は人材確保や企業PRの一環として広く実施されており、行政でも同様に取組が行われています。

本事業では、設定したテーマに沿った地域活動の他に個人の探究活動として山崎さんは「まちなか賑わい創出」、及川さんは「空き家・空き店舗利活用について」、実際に商店街での現地調査や生成AIを活用しながら、地域の視点とAIの視点を照らし合わせた改善提案に取り組みました。

■テーマ「剣淵町公式ホームページリニューアル」

リニューアルしてから約10年が経過した町公式ホームページの改善案について、役場の若手職員8人と共にグループワークを計3回行い、最後に成果発表を行いました。

グループワークの中では、「階層が深く、ほしい情報にたどり着くまでに時間がかかる」などホームページの課題や改善点、あると便利な機能など実際の利用者の目線に立ち、リニューアルに向けた実装内容を議論しました。

■テーマの他にも職場実習を実施

広報紙記事の作成や公共交通機関体系の改善、交付金事業の実績報告補助など日常の自治体業務も行いました。

限られた滞在期間の中で、役場職員と議論しながら職場実習を進めました。



インターンシップ参加者



はると
及川 暖人さん

北海道科学大学
 未来デザイン学部
 人間社会学科3年
 趣味：旅行、野球観戦

おうたろう
山崎 央太郎さん

北海道科学大学
 未来デザイン学部
 人間社会学科2年
 趣味：サッカー、サウナ



■活動の概要

◇テーマ

「剣淵町公式ホームページリニューアル」

◇個人課題探究活動

「まちなか賑わい創出」

「空き家・空き店舗利活用について」

◇役場業務の体験

- ・広報紙記事の作成
- ・公共交通機関体系の改善
- ・交付金事業の実績報告補助
- ・企画業務に関すること

= 西岡町長との懇談会 =



2月6日に、西岡町長とインターン生2名が懇談を行い、剣淵町が目指す未来像や、人生設計を立て、実現していく中で求められる重要なスキルについてなどお話をいただきました。

西岡町長は、「自治体業務は、幅広くなんでもやっていると面白く、枠にとらわれずに挑戦できるのが良いところ。ぜひ色々な方とコミュニケーションを取ってください。」と激励の言葉を述べられました。

どんなウェブが良いのだろう…？ 職員 & 学生グループワーク

グループワークでは、インターン生と若手職員が協力して、改善提案の発表に取り組みました。

A班テーマ：「町民を支えるホームページに！」

◆現状の問題点や課題点

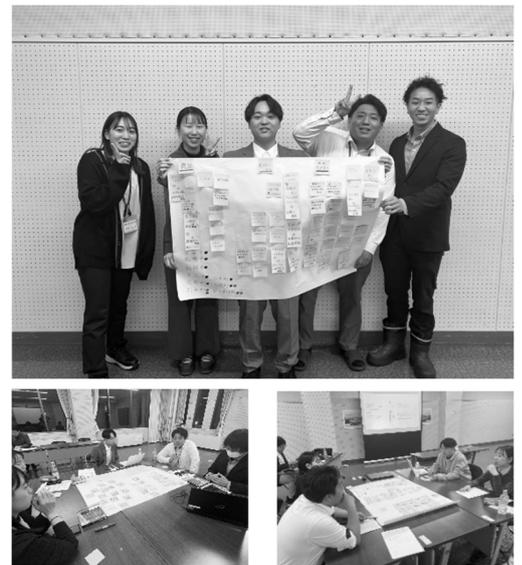
知りたい情報にたどり着くまでに時間がかかる。

◆改善案

- ・見られている情報をトップページに集約
- ・情報の配置・導線の整理

◆A班が描くHPの理想像

- ・町民が「使いやすい」「わかりやすい」ホームページへ！
 - ・災害や緊急時の不安・混乱解消へつなげる
- (写真左から、丸田、渡邊、及川、石川、児島)



B班テーマ：「閲覧数10万を目指す！」

◆現状の問題点や課題点

剣淵町らしさ、閲覧補助機能が足りない。

◆改善案

絵本の里デザイン要素の追加、スマホ版の改良。

◆B班が描くHPの理想像

各市町村の良いところ取り+絵本の里や特産品を活かしたデザイン
= 剣淵町らしいホームページに！

(写真左から上段：阿部、山崎、齊藤、下段：中鉢、酒井)

